

# 緩和ケア新聞



回覧

令和3年5月

飛騨市民病院では、平成18年に緩和ケアチームを発足、翌年には緩和ケア外来を開設して、住み慣れた地域で安心して最期まで人生を全うするためのサポート体制を整えています。



## 暖かい癒やしのダイナールーム

入院中の療養生活をよりよい環境で送っていただけるように、令和2年12月に飛騨市民病院を守る会様にご協力を賜り、2階ダイナールームの改修を行いました。飛騨の匠の技が凝縮された優しい風合いの家具に包まれて、**ゆったりとお寛ぎいただける空間**となりました。

## もしものときのために～人生会議してみませんか？～



あなたは「もしものこと」を考えたことがありますか？私たちは、いつでも命に関わるような大きな病気や怪我をして命の危険が迫った状態になる可能性があります。命の危険が迫った状態になると**約4分の3の方が**これからの治療やケアなどについて**自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなる**と言われています。

”人生会議”とは、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたりあなたの**信頼する人たちと話し合う**ことを言います。あなたにはこのような前もっての話し合いは必要ないかもしれませんが。しかし自分の気持ちを話せなくなったときには、心の声を伝えることができるかけがえのないものになり、ご家族やご友人の心の負担は軽くなることでしょ。

※本内容は、連載企画です。今後の掲載予定は以下の通りです。既刊分をご覧になりたい方は飛騨市民病院にバックナンバーがあります。うまく活用しましょう。

42号	2019/8	人生会議とは	人生会議のすすめ方(流れ)
43号	2020/2	第1ステップ	考えてみましょう
44号	2020/8	第2ステップ	信頼できる人が誰か考えてみましょう
45号	2021/2	第3ステップ	主治医に質問してみましょう
<b>46号(本号)</b>	<b>2021/5</b>	<b>第4ステップ</b>	<b>話し合いましょう</b>
47号	2022/2	第5ステップ	伝えましょう
48号	2022/8	やってみよう人生会議	

【厚生労働省ホームページ 資料より一部改変】

発行 飛騨市民病院 緩和ケアチーム





